

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 2年次生 越智 文歌

1、はじめに

3月4日～3月18日の間、国際交流基金の助成を受け、オーストラリア語学薬学研修に参加し、New South Wales にある NorthCoast TAFE Kingscliff campus にて様々なことを学びましたので、報告させていただきます。

2、現地研修校 North Coast TAFE Kingscliff campus にて

現地では、平日は学校に通い、英語や薬学、オーストラリアの文化などを学びました。校外学習として動物園や現地の小学校の訪問、アボリジニ文化体験をしました。

・English class

英語の授業では、日常会話や文法だけでなく、オーストラリアの地理や文化について、ゲームやクイズ形式で学びました。

ホストファミリーと一緒に考える宿題があり、楽しみながら取り組むことができました。

また、現地の小学校を訪問し、子どもたちと英語でコミュニケーションをとり、日本の文化を伝えました。日本では学校でも塾でもリーディングやライティングがメインの授業が多い一方、オーストラリアではリスニングとスピーキングの力を育成できる、実践的な授業が多いように感じます。生活に直結する英語を学ぶことができました。



現地の小学校で習字を教えている様子↑

・ pharmacy class

薬学の授業では、オーストラリアの医療システムや薬剤師の役割などを、日本と比較する形で学びました。実際に薬局を見学し、医薬品の陳列の仕方やサービス内容を目で見て耳で聞いて学ぶことができました。受け身でなく主体的な授業で、学んだことがとても印象強く残っており、非常に良い体験ができたと思いました。

pharmacy class で教えて
くださったサリー先生と→

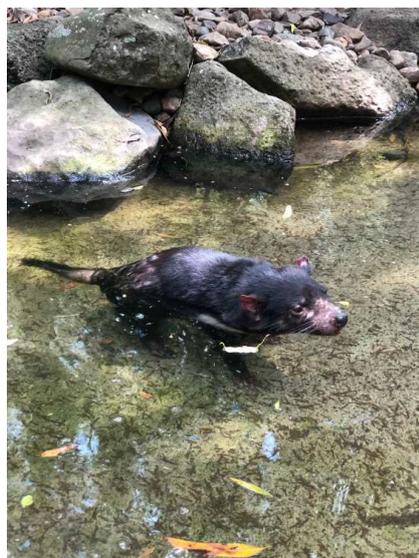


・ その他（異文化交流学習、動物園）

上記の他には、アボリジニの文化の学習や、動物園でオーストラリアの動物と触れ合いました。アボリジニの子孫の方からお話を聞き、珍しい植物など実際に食べていたものを食べさせていただくことができました。動物園ではコアラを抱っこしたり、オーストラリアならではの動物を見たりと、とても貴重な体験をすることができました。



↑アボリジニ文化体験の様子



↑動物園のタスマニアンデビル

3、ホームステイ

私のホストファミリーはとても親切で、あたたかく迎え入れてくれました。海へ連れて行ってくれたり、一緒に買い物をしてごはんを作ったりしました。2人の孫を持つ年にも関わらず、毎日海へ行って泳ぐ彼らはとても元気で、心から尊敬しています。また、オーストラリアの海に住む生き物の話をたくさんしてくださり、勉強にもなりました。本当の家族のように接してくれたホストファミリーには感謝の気持ちでいっぱいです。またオーストラリアに行くときはぜひ、彼らの家を訪れたいと思います。



↑ホストファミリーと思い出の海

4、感想

オーストラリア語学薬学研修を振り返ってみると、私は多くを学ぶと同時に人のあたたかさ、会話することの楽しさを感じることができたと考えます。研修前の私は人見知りで、特に外国の方に自分から話しかけるなんてできるはずもないと思っていました。しかし、オーストラリアで生活するうちに、知らない人にも自分から挨拶をするようになりました。挨拶から人の輪が広がることがわかったからです。小学校で習ってきたような、挨拶の大切さを改めて感じるようになりました。また、英語を話すことは決して得意ではありませんが、私の話を一生懸命に聞いてくれるホストファミリーや現地の先生の姿を見て、英語を話したいと思うようになりました。

私はこの2週間の留学により、少しではありますが積極的な人間になれたように思います。この貴重な経験を生かして、今後も色々な人に自分から話しかけ、自分の手で輪を広げていきたいと思いました。



お世話になった先生と研修参加者の集合